

一貫生産体制で高品質な アンカーボルトを提供

納期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応



多様な形状のボルトを製作

業務内容
独自のねじ切り技術で
多種多様な製品を製造

丸棒鋼材の寸法切断で創業後、独自でねじ切り技術を確立。太径の丸鋼や異形棒鋼などにねじを切った土木基礎用アンカーボルトの製造で業務を拡大している。さらにS N R鋼（建築構造用圧延棒鋼）を使った伸び能力のある耐震補強用アンカーボルトの製作など、新規需要獲得にも積極的に取り組む。現在は、直径16mm～120mmの製品を中心に、多種多様なアンカーボルトを製造。ISO 9001やJIS認証を取得した自社工場において、材料加工から検査、発送まで一貫した生産体制を確立している。

強み
顧客のニーズや
提案重視の開発が好評

同社は丸鋼にねじ切りを施したアンカーボルトの製品品質を極めてきた。その品質精度の向上や維持には、長年の経験や蓄積された技術力に加え、時代に即して拡充を進めてきたという各種生産・管理設備が大きな強みとして寄与している。

また、業容の根幹として根付いている顧客ニーズや提案を重視した製品開発の姿勢は、顧客との関係強化に重要な役割を担っている。なかでも、アンカーボルトとテンプレート（板）をセットしたアンカーフレームに組み立て、その状態で納入することで顧客側の機械導入や職人の負担を軽減。顧客目線による製造で好評を得ている。

品質管理
JIS規格認証表示など
品質管理に強い信念

同社では構造物を支える部材として、アンカーボルトの製造に必要なJIS規格認証をいち早く取得。信頼できる品質の

実証として、鋼材の材質を証明するミルシートやJIS証明書などの発行体制を整えている。さらに自社内でリングゲージやマイクロメーターなどの校正器具を揃え、製品の外径やねじ等級なども管理し出荷。各種ナットなどの外注製品についても品質管理を徹底している。森健二社長の「粗悪な商品は販売しない」という強い信念により、納期管理においても専門部署が仕上がりや発送に厳しくチェックを実施。顧客との信頼関係を築いている。

今後の展望
強度化とコストダウンで
海外需要を狙う

平成7年に起きた阪神・淡路大震災での建物被災を教訓とし、耐震性に優れたアンカーボルトの開発に取り組んできた。現在も構造物市場では部材への安全保障ニーズが強い。森社長は「今後も強度を追求した製品開発に特化し、業界に安全安心を提供していく」と力を込める。素材の強度化により製品の軽薄化を進め、コストダウンも図っていく。

さらに新たな販路として、インフラ整備が活況な東南アジア圏を視野に入れている。「技術開発によって強度とコストダウンを補いながら、需要層の拡大を海外に求めている」方針としている。



活気あふれる若い従業員たち



あらゆる加工や要望に対応

当社の歴史



昭和27年、「鉄のまち 九条」として知られる大阪市西区の九条で創業。建築用基礎ボルトの製造で60年以上の経験と実績を重ねてきました。品質管理の証明として、ISO9001やJIS認証などを取得。今後も「顧客第一」をテーマに、品質管理とサービスの提供に努めます。

代表取締役社長 森 健二さん

<https://www.mori-kouzai.co.jp/>

主な事業内容

アンカーボルト、アンカーフレーム、丸棒鋼材加工品などの製造

主な取引先(納入先)

ねじ卸商、鋼材商社

- 住所 〒550-0025
大阪市西区
九条南3-17-10
- TEL 06-6581-9110
- FAX 06-6581-5400
- 創業 昭和27年5月
- 設立 昭和37年2月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 20名

ISO 9001
JIS B 1220